



議会だより

2010

No. 82

題字は豊岡小6年 ことう 後藤 かな 香菜 さんです

平成22年10月27日 (年4回発行)

発行：大分県日出町議会

電話：73-3135



勉強がんばるぞー…後期のスタート

(日出小学校 授業風景)

目次

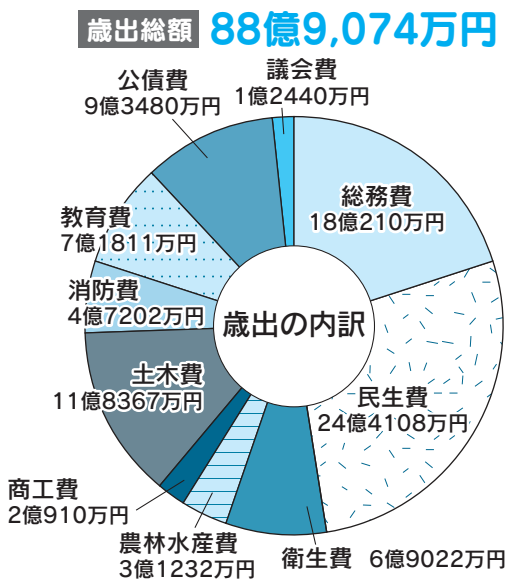
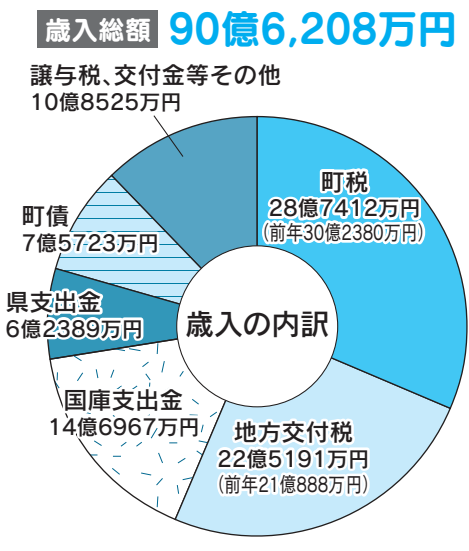
- 特集 (21年度決算・補正予算) 2
- 常任委員会 4
- 一般質問 8
- 研修視察・その他 15
- 町民の声 16

改革

新たな決算特別委員会で集中審議

議会改革の一環として、これまでの所管予算の委員会付託をやめ、議員1人ひとりが決算全般を把握し審議するための決算特別委員会を設置しました。今後、一般会計・特別会計決算は議長と議会選出監査委員を除く議員で審査を行い、審査の結果や各項目の指摘事項が12月補正予算や次年度当初予算により反映されるよう努力していきます。

21年度一般会計決算内訳



21年度決算
12年度
以来の
歳入90億円超え

前年比10億4145万円増額で財政指標も改善

基金(町の預金)の状況

	20年度	21年度
財政調整基金	8億 256万円	9億 216万円
減債基金	3億7,696万円	4億 484万円
合計	11億7,952万円	13億 700万円

町債(町の借入金)の状況

	20年度	21年度
一般会計	90億2,392万円	90億 602万円
特別会計	60億4,936万円	58億 675万円
合計	150億7,328万円	148億1,277万円

**主要2基金13億円を超え
町債は140億円台まで減**

財政調整基金・減債基金は、地方税や国からの交付税などの収入でその年度の支出がまかなえないときの財源調整に充てる町の預金です。平成17年まで7億円台で推移してきましたが、行財政改革により、13億円まで回復しました。

町債は、平成14年の168億円をピークに順調に減少し、148億円となつていきます。

新たに設置された決算特別委員会では、終日3日間の集中審議が行われました。所管委員会の壁を越えた詳細な協議は、後日行われた所管委員会でも取り上げられ、次年度予算に今まで以上に反映されることとなります。特に未収増に対応する町税徴収のプロジェクトチームの設置や電算関係の経費節減、費用対効果の薄れた事業(安心安全メールなど)の見直しや必要な事業(イノシン対策など)の大幅な予算拡大など指摘しています。

**次年度予算編成に
反映する決算審査**

歳入決算額は、90億6208万円の前年度に比べ約10億円増額。景気の低迷で町税は減少したものの、普通交付税、定額給付金などの国庫支出金、臨時財政対策債を含む地方債が大きく増加したことが要因となっています。

歳出決算額は、88億9074万円となり、義務的経費(人件費・扶助費・公債費)は減少したものの定額給付金事業や地域活性化交付金を活用した事業の実施により、投資的経費を始め、物件費、補助費などが大きな伸びとなりました。

過去最長27日間 9月定例会

22年度9月定例会が9月1日から27日間にわたり開催され、議案11件、諮問1件、認定2件、報告2件、同意1件を審査しました。今定例会は、予算委員会、議会改革調査特別委員会に次いで、新たに決算特別委員会が設置され、議会改革に取り組む「新しい議会」を目指すための体制が整った定例議会となりました。

特別会計歳出決算

	21年度	前年度対比
国民健康保険	27億4,420万円	2,053万円増
簡易水道	1,189万円	298万円増
公共下水道事業	7億8,762万円	4億6,105万円減
老人保健	2,426万円	3億161万円減
土地区画整理事業	3,789万円	661万円減
漁業集落排水事業	5,643万円	900万円減
農業集落排水事業	3,535万円	305万円減
介護保険	21億3,420万円	1億1,443万円増
後期高齢者医療	2億3,959万円	236万円増

介護保険1億円増に懸念
介護保険特別会計は従来のサービス給付費の増加に加え、高額医療合算介護サービスが新設されたため、21年度も総額で1億円を超える増加となりました。このまま増加すれば保険料の大幅な見直しにもつながるため、介護予防を重視し安定した保健事業で健全運営に努めるよう指摘しています。

水道事業会計決算

経営成績は、総収益3億7,937万円に対し、総費用は3億3,805万円で差し引き4,132万円（前年比22%減）の純利益を計上しています。経営の安全性の尺度となる自己資本構成比率は70%で、前年度に比べ1.8ポイント上回っています。経営状態は昨年度に引き続き健全性を保持しているといえます。

補正予算総額
3億4,418万円
予算委員会

改革 3つの事案を所管委員会に調査依頼

9月6、7日に開催された予算委員会では、一般会計3億1,672万円、特別会計総額2,746万円の補正予算を審査しました。その結果、3つの事案についてより詳細な資料の提出と説明が必要と判断し、それぞれ所管委員会に専門調査を依頼。21日の再開された予算委員会でも所管委員会から一部内容修正の報告を受け、賛成多数で全ての補正予算が可決されました。

主な内容

地域通貨

地域通貨利用者の利便性を図るため、現在の住基カードから紙幣に移行する。
22万円

デジタル難視聴補助

現状では全く受信できない地上デジタル放送の難視聴地域の解消を図るため、大神八代地区に対し共同アンテナ設置補助を行う。
87万円

子育て支援拠点事業

「日出町児童館」の利活用のため、子育て支援事業委託費を増額。
30万円

地域サロン

地域福祉におけるコミュニティ活動を活性化するため、「地域サロン」の普及を目指す。
240万円

ブランド園芸

きゅうりハウスの新設を助成し、農家負担の軽減を図る。
697万円

蹄疫対策

家畜市場再開後の子牛市場などの価格低下

に対処するため、畜産経営緊急安定対策補助費を新規に計上。
41万円

イノシシ

深刻化するイノシシ被害対策として、電気柵購入補助費を追加計上。
84万円

町道整備

法花寺線、辻の尾千騎線、早水台線など、6路線の道路改良事業費を新規計上。
2300万円

給食センター

安心安全な学校給食を提供するため、緊急に改善の必要がある施設整備費と備品購入費を追加計上。
829万円

体育施設費

町有地にアーチェリー練習場を建設。
270万円

補正予算の財源は、臨時財政対策債の増額分と事業変更による町債の補正、事業実施に伴う国・県支出金で措置され、また、財源不足を補う財源調補正して調整しています。

常任委員会

改革

予算委員会の指摘を集中審議

新設された予算委員会で審査の結果、さらに詳細な説明のための準備に時間を要すると判断された場合、予算委員長は総務・産業建設・社会厚生各所管委員会に、より専門的な調査を依頼します。依頼を受けた3つの委員会は集中審議を行い、その結果を予算委員会に差し戻します。その後再び予算委員会が再開され、各委員会の審査結果をもとに全議員で可否を決定します。

総務

通勤災害補償の拡大
議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償などに関する条例の一部改正

地方公務員災害補償法の改正に伴い、公務災害補償の範囲に、新たに複数就業者の事業所間の移動および単身赴任者の赴任先と帰省先の住居間移動時の適用が加えられます。
字の区域の変更

中山間地域整備事業構築速見2期地区大久工区の圃場整備事業により、整備後の土地区画に合わせ隣接する字の区域を変更します。

予算委員会の調査依頼

地域通貨「ここに通貨カレイ」の紙幣運用

現在実施されている地域通貨を住基カードでの運用では今以上の利用拡大は見込めないため、従来の手法に見切りをつけ、紙幣での運用に移行するための関係予算が計上さ

れました。予算委員会で、言わば全く新しい取り組みであるにもかかわらず、準備不足のため説明が一貫せず、総務委員会での再審査になりました。

審査の結果、個人の地域美化活動の申請による通貨取得や青少年の健全育成に活用できる寄付制度など詳細な説明を受け、今後新たなシステムで需要拡大を見込み、リサイクルやボランティア活動を促進し、地域の活性化と産業振興を図りたいということがです。委員会では22年12月1日の運用開始に向け、町民の皆さんに地域通貨の主旨を十分理解していただき、混乱が起きないようにしっかりと詳細にわたり準備をするよう指摘し、予算委員会に賛同の報告をしました。その結果、再度行われた予算委員会で地域通貨関係予算は認められています。

閉会中の審査

8月6日開催

善 コミュニティバスの改善

11時30分役場発のバスに実際に乗車し、利用状況や問題点を調査しました。今後利用者の拡大、特に目刈地区利用者の不便を考え、改善に向け努力するよう要望しています。

第2次行財政改革プランの検証

職員の意識改革と人材育成が特記された第2次プランは、過程や成果が判断しづらいことから、今後も緊張感を持って改革を押し進め、町民の皆さんにもしっかりと伝わるよう結果報告の形を整え、検証と評価ができるよう指摘しています。

納税通知書の未発送問題

国民健康保険の納税通知書未発送の問題は、全員協議会で報告と謝罪を受けましたが、改めて経緯と善後策の報告を受け、委員から厳しい意見が出されるなか協議しました。最終報告では、原因究明し再発防止の具体策が提示されましたが、今後このようなことがないよう、緊張感を持って事務にあたり、町民の皆さんの信頼を回復するよう強く指摘しています。



利用しやすいように（コミュニティーバス）

常任委員会

産業建設

的山荘指定管理者を公募
日出町の山荘の設置および管理に関する条例制定について

3月議会でも可決、制定された「指定管理者の山的山荘の管理を指定管理者によって行わせることを目的とした条例です。業務の条件は、歴史的建造物と日本庭園を活用した趣のある和食店の運営などを掲げ、独立採算制で運営します。

10月より公募を開始し、町の選定委員会でも決定し、議会の承認を得た後、来年の4月より業務を開始する予定です。条例案、募集要綱に特段の瑕疵や問題点は無かったので、可決としました。但し公募に当たっては、公平、公正に行うよう要望しました。

イノシシの電気柵追加

農林水産課から、イノシシの電気柵を20基分用意しましたが、申し込みが多く12月補正予算を待たずに追加して対応する報告がありました。ワナを設置する際、狩猟免許が必要なので、ぜひ担当職員に取得してもらおうよ

うお願いしました。都市建設課の審議で中央公民館前の街路樹を柳に植え替えたため、町民から苦情が出ていたと申しました。善処して対応するとの答弁を得ました。

予算委員会の調査依頼

的山荘関係

補正予算に的山荘の家賃収入が計上されていない点について、また、他にも不明な点があり、予算委員長の指示で再調査を行いました。

予算委員会では、商工観光課から家賃を8月分から徴収すると答弁がありました。冒頭唐突に「建物賃貸借」と「維持管理業務委託」の契約書を提示され、それも賃貸料と委託料がほぼ同額という内容です。また、これまで業務委託契約は一切の報告はなく、その予算は観光協会から出されているという説明です。

再度、商工観光課長、観光協会事務局長に、契約の日付けが9月1日であることや観光協会の当初予算に業務委託料が計上されていないことを指摘すると、委員会での説明のため、つじつまを合わせる予算書を作成したと

謝罪がありました。町民の貴重な財産を正しく管理することはもちろん、議会は「町長や課長の謝罪を求めるために審議しているのではない」こと、また今後、真実を答弁するよう強く指摘しました。

閉会中の審査

7月26日開催

高校跡地にケーズデンキが進出することが決定したとの報告を受けました。会社概要や契約内容の説明のあと、委員から、地代の更新、グラウンド

を使用しての少年野球、サッカーの代替地についてを質問しました。また、地元説明会を開き、地元区長の意見をよく聞き、答弁するよう要請しました。

8月5日開催

6月議会での町長の山的山荘の文化財指定の考え方について、あらためてお聞きしました。町長はあくまで県、国の指定を目指しており、それには3～5年の期間がかかるため、その間は町の指定に止まるとの見解を示されました。



早く、指定管理者で管理・運営を（的山荘より別府湾を望む）

改革

閉会中の審査報告

総務・産業建設・社会厚生の各所管委員会は、年4回の定例会の閉会中に、継続審査案件や所管事務の懸案事項を審査します。また、必要に応じて全員協議会を開催し、突発的な事案を協議したり、広域事務の報告を受けてその対応にあたります。

議会だよりは今号から、こうした閉会中の審査状況も報告することにしました。議会全体の動きを広く町民の皆さんに報告することで、「議会だより」も議会の改革と活性化に取り組んでいきます。

常任委員会

社会厚生

県外土が日出町に

県外土を日出港に荷揚げし、大神地区に埋め立てる旨の許可申請が町に提出され、また他の地域にも埋め立てようとする動きがあります。

町長、生活環境課同行のもと日出港、埋立場所、杵築市で荷揚げされている同種と思われる土砂の現地調査を行いました。

町長から、日出港の拡張工事が中断されている。工事を進めるには、使用実績があるとの説明ですが、

各委員から

- 荷揚げされている土は、含水量が多く、江上川に沿って埋立るようだが、大雨の時には、港まで流出するのではないか。

- 周辺住民への説明が十分できているのか。

- 県外土であり、不安である。土壌検査をしっかりやってほしい。



県外土の荷揚げが計画されています（日出港の貨物バース）

- 過去に産廃でひどい目にあっている。などたくさん意見が出されました。

3年前、同じ内容の要望書を県に提出しましたが、今回も荷揚げ反対の意見書を提出します。

平道地区の墓地のゆくえ

平道地区の墓地の擁壁崩壊は、22年7月上旬に申請者に対し、墓地崩落の今後の対策・対応について、説明を求めた文書を送付しました。7月16日に代理人が来庁し、擁

壁工法のメーカーとの話し合いは中断しているが、墓地経営継続の意思はあるとのこと。

法的なことは、町の顧問弁護士と相談し、対応を早急に検討するよう、町長へ求めました。

予算委員会の調査依頼

アーチエリーの練習場を

川崎の民有地でアーチエリー場を含む多目的グラウンドを新設する補正予算が計上されました。マインースポーツにも目を向け、底辺の拡大を図ろうとする町の姿勢は評価します。しかし、補正予算以外にもトイレの設置や駐車場、グラウンドの整地など多額の費用も予想されます。また民有地に設備投資するのは、おかしいのではないかなどの意見が多数を占めました。審査の結果、川崎民有地での設置を見送りしました。

町有地内にアーチエリーの練習場ができる場所を

早急に調査検討するよう要請しました。

閉会中の審査

8月17日

教育委員との意見交換会

藤井教育委員長から日出町教育の現状と課題

- 学校施設の耐震診断、耐震補強
- 学力向上の対策
- 教職員の意識改革
- 社会教育の充実

石尾教育長から教育委員会の報告事項

- 大分県学力基礎基本の定着状況調査
- 二学期制

の説明を受け、意見交換会を行いました。

夏休みに行う三懸・地区懇、国旗・国歌の問題、一学期制、学力向上文化財の問題など、活発な意見が交わられました。

今回が初めての試みでしたが、今後とも議会と教育委員ともに連携をとりながら、町の子どもたちを見守っていくことについて、会を閉じました。

常任委員会

学校施設耐震補強工事等 年次計画	建築年月	耐震診断 (年度)	補強工事 (年度)	
耐震補強事業	豊岡小学校特別教室棟	S56. 3	21	22
	川崎小学校管理教室棟	S53. 3	21	23
	日出中学校管理教室棟	S54. 3	21	24
	藤原小学校管理教室棟	S55. 3	23	24
	大神小学校教室棟	S56. 3	23	25
	大神小学校屋内運動場	S56. 3	24	26
	大神中学校屋内運動場	S43. 2	24	26
	日出幼稚園園舎	S52. 1	25	27
	真那井幼稚園園舎	S55. 2	25	27
	豊岡幼稚園園舎	S56. 3	25	27



これで安心（豊岡小学校特別教室棟耐震工事完了）

学校施設耐震補強工事等 年次計画

耐震診断は、25年度までに、補強工事は、27年度までに各学校施設すべて完成する予定です。

各委員から、一年でも早く完成し、子どもたちが安全で安心して学べる環境づくりに努めるよう指摘しました。

行政視察

期日 22年7月15日

研修先

由布市庄内町
由布市学校給食センター

目的

日出町の施設は、衛生管理基準が改正されたことで、基準を満たせない部分があり、子どもたちの学校給食が安全で安心して給食を受けられる施設の改善を求められています。

参加者

委員長 上野 公則
副委員長 佐野 故雄
委員 佐藤 二郎
田原 忠一
池田 淳子

議長 長城 美津夫
教育長 石尾 潤治
教育総務課長 木付 尚巳

学校給食共同調理場所長 宇都宮敏樹

由布市の学校給食センターは、完全ドライ方式を採用し各業務（食材の検収室・下処理室・調理室・洗浄室）が区分され衛生管理の面で特に徹底されています。

調理室

アレルギー室、和え物室が明確に壁で仕切られているため、その他の食材からの汚染が防止されています。

食器の洗浄

コンテナ内でコンテナ、食器両方の殺菌保管がされるため、労力の省力化、衛生管理が十分図られています。

地産地消

食材の20%を地元から購入し、米飯給食も週4回と多く取り入れていきます。

調理員の勤務体系

嘱託、臨時職員それぞれに調理師の免許の有無で若干の給与に差があり、勤務は、代替職員を有し職員に事故があったときはすくに対応できるように、余裕を持った勤務となっています。

給食費

地区の給食委員が徴収し滞納も非常に少ないようです。

日出町は、老朽化のため施設設備で基準を満たしていない部分や、調理場内の温度、湿度管理など衛生管理設備が十分に整っていないのが現状です。さらに、外部からの異物混入の原因となることとが予想される搬入室口、また施設内が厨房機器などで手狭となっていることから、早急な施設の改修または建て替えが求められています。

一般質問

Q&A ここが知りたい



佐藤 隆信 議員

問 ボートピア建設
町長の考えは

答 企業誘致的な
考え方で対処

問 このキャンブル施設に対する町長の認識をお聞きたい。

町長 娯楽性、利便性の高いレジャー施設に位置づけられていると思っています。雇用の機会、商業の活性化、環境の整備などの地元に対する還元措置、優遇措置が期待できます。

企業誘致的な考え方で町としては、対処いたします。

問 豊岡西の二区で、

この問題を協議し、誘致に対して同意をしたのか、しなかったのですか。

町長 地元住民の意向をどのように考えていますか。

町長 一応決まったと聞きましたが、若干疑問が残る向きもあります。もう一度話し合いをしていただくほうがよいと考えています。

問 臨時総会の結果は、同意しない意向です。でも町長は、やり方がおかしいという。どういうやり方をして、地域の人々が判断したときに、町長は同意するのですか。

町長 総会は、過半数以上の出席で、この中で、また過半数以上の同意が必要と考えます。賛成、反対の委任状も極めて重要な事項です。

私の一般的ルール論からすると、今回の場合はちょっと違うかなというイメージ感覚を持って接触しました。

問 町は、土砂の荷揚げに対して、どういう

日出港に県外土を荷揚げ

認識を持っているのですか。

生活環境課長 物流施設として、経済活動の中で有効利用することに関しては異論ありません。荷揚げされるものが、土砂であっても一概に拒否すべきでないと思います。

問 関係住民に、町の意向を話しましたか。

生活環境課長 北浜や南浜の区長に計画があることを伝えました。意見や要望は、県の環境保全課や別府土木事務所へ伝えていきます。

問 町が土砂の荷揚げを同意した時は、土砂の出所調査や土質検査を町がするのですか。

生活環境課長 港湾の使用は、県の港湾課が許可を出すので、町との協議、意見照会はないと思います。町の同意は、許可要件としては原則ないのが現実です。

問 現在、町での補修や草刈りをしなければならぬ道路はどれくらいありますか。

都市建設課長 町道は、

町道の維持管理



維持管理を行っています（町道の草刈り）

578路線、総延長で32万6902mです。補修などは、地域の方からの通報や職員の見回りにより、危険の度合いを考慮しながら安全性を確保するよう行い、1年間で約154力所の補修を行っています。

問 問題解決の具体的な計画を作っていますか。

都市建設課長 道路の補修は、被害が拡大する前の早期処置を行い、改

良計画と合わせて効率的な維持補修を行います。草刈りなどは、地域の協力を今後とも求めていきたいと思っています。また企業ボランティアや地域の道路愛護グループの発足を積極的に働きかけていきます。

質問を終えて
ボートピアを一般企業と変わらないと認識している町長には、住民の認識は分からない。

一般質問

Q&A ここが知りたい



熊谷 健作 議員

問 民間企業への派遣研修を

答 積極的に検討します

問 過去5年間の職員採用で、年次毎に0から18人とばらつきがある。平準化すべきではないですか。

総務課長 17年度から実施しました第1次行財政改革プランに基づき、職員定数の削減に取り組み、定年退職者および中途退職者の補充を抑制してきました。

その結果17・18年度は職員採用をしないで、この間、課の統合や出張所

町長 私は、この6年間、積極的に女性の登用を試みてきました。今後、早い時期に課長補佐や、課長職に登用し、女性の特性に合わせた行政手腕を大いに発揮してほしいと思います。

問 町は障がい者を採用していませんが、来年度以降に採用する考えはありますか。

町長 町は、長い間「福祉の町」を掲げ、太陽・ホンダ太陽・ナザレトの家を含めて、福祉施設を立地してきました。そこに雇用があるなど、福祉の町づくりになっていると思います。

職員の採用枠としてはありませんが、今後の検

の見直しなどの機構改革に取り組み、事務の効率化を図り、職員数を最小限に抑えました。

現在は、定員数も落ち着きましたので、今後は計画的な職員採用に努めます。

問 男女共同参画社会基本法が制定されて10年が経過、町では女性課長が誕生しないのはなぜですか。

討課題として対処させていただきます。

問 最も身近で信頼される役場になるために、町職員に対し、外部講師を招いての研修や民間企業への長期派遣研修を実施しては。

町長 町の研修体制、職員の資質を含めた意識改革をどうするべきか、ということは、今回の行財政改革の中心的な課題



町民から信頼される職員へ

です。積極的に研修をさせているがまだ欠けている部分があり、発言を十分胸にとどめて頑張ってください。

悲惨な児童虐待を未然に防ぐために

問 児童虐待の実態調査と児童相談所との連携などはどのようになっていますか。

福祉対策課長 実態調査はしていませんが、各種窓口には各機関から情報が入ってくるので対応しています。

要保護児童対策地域協議会を設置し、要保護児童の早期発見・保護、関係機関の情報共有し、適切な提携の下で対応しています。

教育長 児童虐待の発見、通告体制は、管理職、学級担任、生徒指導、スクールカウンセラー、養護教員など、教職員が協力して組織的に教育委員会への報告、連絡、相談を行うことにしています。

町内の幼稚園、小中学校に周知しており、徹底する意味で改めて通知し、児童の虐待防止に努めていきます。

※その他に町報についての質問もありました。

質問を終えて
職員のコミュニケーション能力や企画立案能力を問われる時、研鑽に努めて下さい。

一般質問

Q&A ここが知りたい

問 文化財の活用は



佐藤 二郎 議員

答 十分検証し保存

問 観光と文化財の位置づけ、文化財の活用はどのように考えていますか。

町長 「日出町探訪」という小冊子を作らせてもらいましたが、町の歴史、文化をしつかり理解していただき、今後の町に住むときの誇りと、自慢にしていきたいです。

町は、自然が豊かで海や山があり、そこに営んできた農業や水産業いろ

んなものがあり、すべて観光資源だと思っております。環境の整備をすることで観光振興につながり、その位置づけを明確にし、文化的な遺産を十分検証し、保存していくことを今後も続けていきます。

問 文化財、地域の方が大切にしているもので、痛んだり、管理が滞っているものなどを行政としてどのように考えていますか。

生涯学習課長 町には、国・県・町指定の文化財、天然記念物が数多くあり、保存、保護に努めているところです。

致道館は、門の補修を予定しており、隅櫓は復元に向けて動きだしたところで、その他の文化財も文化財保護委員と一緒に活動しながら保存、保護に努めていきます。

問 隅櫓を萬里図書館の前に復元実施していますが、この場所が適当な場所かもう一度、公式の場で発言を。

町長 鬼門櫓（隅櫓）は、お城の東の北にあるべき性質の櫓ですが、ここは小学校の敷地内であり、できませんでした。

補助金あるいは交付金の性質上からも問題があったわけです。

設置場所は、内部で議論し専門家のお話もあり、お城の一角がいいだろうという結論である位置になっています。昔の修復方式、きちっとした修復をするという観点、補助金などの性質からするとやむを得ない対応であり、次善の策とご理解をいただきたいと思います。

町道の整備

問 町道の改良整備が必要な箇所と、区長さんや町民からの要望箇所がどれくらいありますか。

都市建設課長 把握しているのは50路線程度で、地域の要望路線は30数件と、とらえています。

現在、幹線道路の3路線は国・県の補助事業で事業実施しており、生活道路の利便性とか、安全性向上の観点から、地域の皆さんから提供していただいた道路用地を活用して拡幅を行っているのが、16路線あります。

問 地権者に用地無償提供を要請し受託すれば改修するという状況をどう考えますか。

都市建設課長 16路線は、当然、地域の方が土地を提供して皆さんの道路利用に活用していただくという路線がほとんどですが、町が計画的に費用を持ちながらやるのが大原則です。土地の提



生活道路の改良を行います（町道の改良工事）

質問を終えて
議員の発言を町民の声として受けていただきたい。

供があれば、可能な限り予算の範囲内で優先的に拡幅を行っています。

一般質問

Q&A ここが知りたい



子宮頸がんの無料予防接種

国の動向を見てから部内で検討

池田 淳子 議員

問 子宮頸がんは健診と予防ワクチンで100%防ぐことができますと言われていますが、約5万円の接種費用を公費で助成しては。

福祉対策課長 県内では九重町が、初めて子宮頸がん予防ワクチンの無料接種を始めました。また、国でも150億円の助成事業を考えているようです。今後の国、県の情報を見ながら検討していきます。

問 150億円の予

町長 国の制度は来年4月以降、国が実施すれば町も実施するようになります。負担割合は明確ではありませんが、負担できない額ではありませんので、今後部内で十分検討していきます。

5歳児健診の実施を

問 現在3歳児健診の後は就学前の健診しかありません。5歳児健診を行えば、発達障がいや学習障がいの発見、療育が早くできます。5歳児健診に取り組む計画、予定はありますか。

福祉対策課長 必要性は認識していますが、健

福祉対策課長 国の予算の概要はまだ分かっていませんが、町の場合、中学1年生から中学3年生までの全員接種で2千万円くらいかかります。次の新1年生は750万円ほどだと思います。

問 女性の命を守るために、国の助成が出る前でも町単独で取り組んでいただきたい。

福祉対策課長 国の予算は、算の概要はまだ分かっていませんが、町の場合、中学1年生から中学3年生までの全員接種で2千万円くらいかかります。次の新1年生は750万円ほどだと思います。



発達障がい児の早期発見に (別府発達医療センター)

診を担当する小児科医師や臨床士の確保、発見後の支援体制の整備(保健士によるフォロー)などの課題があり、現状では困難と考えます。

問 それでは就学前の健診で発達障がいを疑われた場合、そのフォロー体制はどうなっていますか。専門施設への紹介は。

福祉対策課長 1歳半や3歳児健診で発見された方には観察指導のフォローを行っています。また「さらさら相談」という

発達障がい児の相談会を町独自で年4回行っています。その後、別府発達医療センターなどにつなげていきます。

児童虐待の対応

問 児童虐待の通報があった場合、どのような対応をしていますか。

福祉対策課長 子どもへの安否を確認のうえ、必要な調査を行います。保育園、学校への聞き取り、健診の受診状況などの調

査をし家庭訪問して子どもに面接します。その結果、軽微な場合は町が中心となって子育て支援サービスなどを活用します。行政権限の発動を要する場合は直ちに児童相談所に連絡します。

問 子育て中のお母さん方の相談体制は万全ですか。

福祉対策課長

- 1、母子手帳交付時にアンケートを実施し、悩みに対応しています。
- 2、産科医の紹介で妊産婦が小児科を尋ね個別に育児相談を受けるペリネイタルビジット事業をしています。
- 3、産後2カ月頃に乳児家庭全戸訪問事業をしています。
- 4、幼児健診の未受診者に次回の案内をし、保育園からの確認や家庭訪問をしています。
- 5、お母さん教室、離乳食教室などで相談を受けています。
- 6、子育て支援センターや保育園で在宅育児の支援を行っています。

質問を終えて

唯一予防できる子宮頸がん。無償接種に向けていち早く対応を。

一般質問

Q&A ここが知りたい



後藤 佑 議員

問 2学期制導入の
効果は

答 最大のメリットは
授業時間数の確保

問 2学期制について、保護者や現場の先生たちへの実態のアンケートの実施は行われていますか。

教育長 2学期制の導入の大きな目的でありました授業時間の確保という点では、昨年度新型インフルエンザなどによって、多くの学校で学年・学級閉鎖を余儀なくされましたが、中学校で31時間、小学校で74時間の余剰時間が確保されていま

す。学力向上に向けての授業時間数の確保という面から、メリットとして、この2学期制をとらえることができると思います。デメリットとしては、夏休み前の通知表が振り回りカードという自己評価になっていくため、夏休み中の学習の目当てがはっきりしないという点ではないかと思えます。

学校教育課長 2学期制の検証として、本年1月に小中学校の保護者、教職員、児童生徒を対象にアンケート調査を実施しました。その結果、小中学校とも、保護者、教職員、児童生徒ともに、どの質問事項も「適当である」、「大体よい」という回答が多数を占めています。しかし、自由記述欄には、2学期制のメリットがわかりにくいという意見や振り返りカードへの不満が多くありました。

問 保護者が不安に思うことの一つに、高校受験の場合、2学期制と3学期制とでは高校側の受け取り方が違うのではないかとということがあるようです。3学期制であれば、1学期、2学期の



知・徳・体のバランスのとれた育成

成績をもとに内申書が作成されますが、2学期制だとチャンスが1回しかないというふうに先生も認識しているようですが。

学校教育課長 その点は全く心配ないと考えます。内申書は、各学年末における評定を記入することになっていて、1年生、2年生の各学年末にそれぞれ1回、3年生は、2学期制、3学期制に関係なく最後の学年末に1回となり、評定を出す時期は同じです。

問 では、2学期制

が県下に普及していないのは何が理由なのでしょうか。

教育長 市町村合併により、市が抱える学校数が多くなったため、制度改正が難しくなったのではないかと私は考えます。しかし文部科学省の調査では、全国でかなりの広がりを見せているようです。学力優秀県の秋田県、福井県も2学期制を実施しており、授業時間数の確保に努めていると聞いています。

全国一斉テストの結果は

問 町では小中学校全校で実施したとのことですが、順位、実績はどうだったのか、今後成績をあげるためにどういうことをしていきますか。

学校教育課長 小中学校ではすべての平均点で全国全県平均を上回っています。中学校では、一部県平均は上回りましたが、全国平均にわずかに届いていませんでした。

教育委員会としまして、テストの順位が学校や子どもたちの全てとは到底考えていません。今の教育には子どもたちに生きる力をはぐくむことが求められています。「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康体力」の3つの柱を基に、「知・徳・体」のバランスのとれた児童生徒の育成に努めていきます。

質問を終えて

一部の保護者だけのアンケートとしたいと思いますので再度実施してもらいたい。

一般質問

Q&A ここが知りたい



工藤 健次 議員

問 町の危機管理体制は

答 危機管理意識の向上を図っていきます

問 第二次行財政改革プランがスタートして早々に納税通知書の発送漏れが発生しました。クレーム発生時の電話対応も記録がありません。また町内であれば2、3日で郵便は着くはずで、何らかの事故か、と調査すべきなのに、「もうすぐ着きます」と回答し、十数件の問い合わせでやっと異変に気付いたようです。大きな事故や事案が発生した場合は通常の業

務を越えての対応となり、現在の危機管理体制は十分機能するのですか。
総務課長 危機管理体制の中で風水害、地震、火災など、対応は、町の災害対策本部設置要領で、災害の規模などの緊急性により第一次体制から第三次体制へ移行します。本部会議の構成も7つの専門部に分かれ、関係各課の職員を配置し、部長である町長を筆頭に全

庁的に推進していきます。自然災害の場合、毎年台風発生時に対応し、一つの危機管理体制は確立しています。一方、地域において危機意識を高めるため、自主防災組織を設立し、防災マップの各戸配布により情報を提供します。今年度は瞬時に情報伝達できる防災無線の整備を計画しています。危機管理体制の基本方針として、担当課の枠を



自然災害の危機管理体制（各小学校校区毎の防災マップ）

超え、全庁的、部局横断的に役割分担を行います。職員には危機を想定し、未然防止策や拡大防止策と対処法を検討できるように、意識の向上を図ります。組織として迅速に対応できる仕組み、対応方法の共通認識をもてるための訓練も必要であり、総務課を中心にリスクマネジメントに取り組みます。

問 地震、口蹄疫、鳥インフルエンザなどの突発的におこる場合の実施訓練は。

総務課長 机上でのマニュアル的、構造的なものはありませんが、実際の行動計画、訓練などはできていません。今後は訓練を実施する体制づくりをしていかなければと思います。

問 職員の意識改革をして、行財政改革の実現を。

町長 納税通知書未発送は緊張感の欠いた行為で、内部検討し、処分も行い二度と起こらないよう職員全員で確認しました。また職員の研修、評価の体制を研究していきます。

工事関係の予算執行

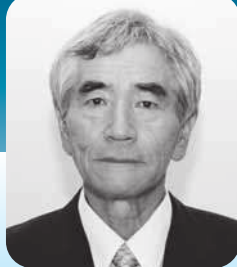
問 工事関係予算の執行は景気や雇用対策を考えた年間を通し平均化すべきでは。

都市建設課長 工事関係の予算執行につき、年間平準化を目指し、第1四半期には比較的工期の長い大型事業、第2四半期は学校関係の事業、第3四半期までには道路改良工事の発注を終わらせ、第4四半期は道路維持を中心とした工事規模の若干小さいものを発注しています。21年度実績では第1四半期と第4四半期では件数は倍となりますが、契約金額では平準化しています。公共事業の予算削減が景気、雇用に大きな影響を与えていますが、平準化し、早期発注、早期完成を目指したい。

質問を終えて
意識改革を最優先し、
大胆な構造改革を

一般質問

Q&A ここが知りたい



田原 忠一 議員

問 高校跡地の
駐車場の代替地は

答 将来は駅前公共
駐車場を
考えています

問 今までは周辺で行われる行事のための駐車場として利用してきましたが、その代替地はどこに考えていますか。

町長 高校跡地の中の一部に駅前広場というスペースを確保しています。また歯医者さんの南側に一部町有地がありますので、当面の間の駐車場対策として考えています。あくまでも計画の段階ですが、将来は駅前公共駐車場というものを考えて



使いやすい駅に改善を（陽谷駅）

問 いくという計画です。駐車場が少なくなれば、催事に電車を利用する人が増えると思いますが、陽谷駅を中央に移す考えは。

町長 これはJRとの協議が前提となります。JRによりますと課題があるということですが、駅前広場というスペースに駅を配置するという構

想で今、検討しています。

問 大分空港へのアクセスは、日谷が便利がよいと思いますが、陽谷駅に特急をとめるという話があった場合、空港、県、商工会と一体となつて協力するつもりは。

企画振興課長 以前、JRと協議をしましたが、鉄道構造規則により、陽谷駅は勾配の基準の要件

を満たしていません。これをクリアするためには大規模な改修などが必要となりますので、早急な実現というのは、今現在難しいというのが現状です。

問 上り下り両方ずつから難しいので上り線だけ改良すれば。

企画振興課長 大変すばらしいアイデアであると思いますが、JR側は非常に安全性を重視しており、左右が違うホームというのは余りにも考えられないというようなことです。

的の山荘の所蔵品の調査経過は

問 調査に3年以上かかるということですが、途中経過を発表しては。

商工観光課長 調査は現在も続行中ですが、23年度中には所蔵品の最終確認と目録の作成を終了したいと思っています。調査状況の中間報告は、所有者と協議の上、承諾が必要な部分もありますので、今後検討していきたいと思っています。

曲がりにくい 赤山交差点

問 日出団地方面から下りてきて上仁王方面に左折する際、交差点の形状のせいか、非常に曲がりにくいと思いますが。

都市建設課長 当交差点の改良工事に先立ち、県の公安委員会ともあらゆる角度からの進入、安全性なども含めて十分協議を行って了解をいただき実施しました。今後は、通過交通量や車両形状などの著しい変化などが生じた場合、より安全性を確保するためにも調査・検討を行わなければならないと思っています。

質問を終えて

利便性のよい陽谷駅

議会改革調査特別委員会

16議員が改革項目提示

委員会では、本会議のテレビ中継、夜間議会、通年議会や議会基本条例の制定などが提示されました。しかし、審議していく上で、議員1人ひとりが議会改革の意思を示し、それを反映していくことが必要であるという判断から、全議員にアンケート調査を実施しました。今後、調査結果を精査し、まず自らの提案した改革項目を検証して実施に向け努力していきます。



改革の一環 予算常任委員会

議員ソフト惜敗

健闘むなしく 抽選負け

9月11日に、県民体育大会公開競技ル大会に参加。 議員ソフトボー

昨年準優勝の栄誉を胸に、津久見市と対戦。猛暑の中、一致団結で健闘するも最終回に追いつかれ、同点に。抽選の結果一回戦で敗退という悲しい結果になりました。残念…

対戦成績

一回戦 12 対 12 津久見
抽選 4 対 5



健闘むなしく

第72回全国町村議会議会広報研修会

538名が一堂に会す全国大会

1期生議員3名も参加し、「新たな議会だより」の発刊に向け、2日間みっちり勉強してきました。

期日 22年8月25、26日
研修先 東京都千代田区
砂防会館

目的 議会広報の役割を認識し、議会活性化に寄与する議会だよりの発行

参加者

委員長 森 昭人
副委員長 池田 淳子
委員 熊谷 健作
上野 公則
工藤 健次
藤井 博幸

8月25日

「わかりやすい文章表現・表記について」
武庫川女子大学教授

佐竹 秀雄氏

「読まれる広報誌のつくり方」

(株)宣伝会議 田中 里沙氏
8月26日

「議会広報クリニック」
城市創事務所代表

城市 創氏

地方議会の存在価値が問われる現在、日出町議会は改革を実施し、より住民の立場に

立った存在感のある議会に革新しようとする努力をしています。「議会だより」は、その改革の一端を担い、議会の活性化に寄与することも最も重要な使命のひとつだと考えます。

そのため、「わかりやすい・読みやすい」記事はもちろんですが、今後は議会活動の細部にまで目を向け、広報する必要があります。

今回の研修の成果を十分に生かしながら、議会広報に課せられた役割を十分認識し、住民の皆さんに親しまれる「議会だより」を目指し、頑張っていきたいと考えます。



読みやすい議会だよりを作ります (広報研修会)

町民

の声

「更なる前進の為に！」

大神原山区 藤原祥美



海善し、山善し、特に水善しの日出町は正に『日の出』の町である。風光明媚なこの町に生活できることをうれしく思っている。

平成の大合併に、主体的な判断のもと、合併せずに町独自の生き方を選んだ町長さんをはじめ、議員の方々、各界の指導者のみなさんにその英断と、今日までのご努力に対して、敬意と感謝を申し上げます。

そこで、わが日出町の今後の更なる発展を願う意味で、町民一人としての、一、三の要望なり、意見を提供したいと思えます。其の一 道路の拡張、整備を急げ。

特に大神地区は県道にしても、車社会に対応が出来てない。遅々として進まない。あの歩道も、幅員がせまくて、自転車の乗り入れが法的にも無理であろう。文化、物流の大動脈である道の整備状況に、地域により、バラツキがあるのは許されないことである。

其の二 地域の活性化をめざせ。産業構造の大きな変化によるものだが、この町でも、都市化現象がおきている。人と人との交流が少なくなったのである。これの対策には、区長さんや老人会長さん等

に期待するところが大きいですが、とりあえず、危機感をもっていたら、どんなに小さなことでもいい、更に取り組んでほしい。地域内での、区内での一体感の醸成が望まれる。

其の三 教育問題も考えよう。

子どもは日出町の宝である。そこで、教育問題についても見逃すことができない。まずは、家庭教育の崩壊が大きな問題であろう。ここでは、子どもから信頼される親となることが先決であろう。

学校教育に目をむけよう。とにかく、先生は忙しすぎる。先生が、子どもに、(授業に)集中できる体制をつくるのが急務のようである。授業も、管理も、事務も、まして、地域社会が当然、やるべき仕事まで先生にまかせるのは、酷である。町費負担で、指導、管理等手助けできる職員を置くことは出来ぬだろうか。

私事、最早八十歳を迎える一老人である。記述したことは、現在感覚からみれば、そぐわないことかもしれないが、どこまでも、わが日出町を愛しての要望・苦言であります。ご笑読下さい。

町教育委員会委員に再任

吉田 壽 樹氏 (67)
(自然郷)

人権擁護員の推薦に適任

藤井 享 子氏 (61)
(日出中央)

議会の今後の予定

12月 8日 定例会初日

10日 定例会中日

13日～14日 常任委員会(予算)

15日～16日 常任委員会(所管)

17日 常任委員会(予算)

20日 特別委員会(議会改革)

22日 議会運営委員会

22日 定例会最終日

表紙写真の募集

年4回議会定例会などを報告するため、議会だよりを発行しています。編集委員会では、議会だよりの表紙に使用する写真を募集しています。

問い合わせ先

議会事務局 ☎73-3135

編集後記

子どもたちの生活の基礎・基本とは、どこにいったらだろう。近年、疑問に思うことがよくある。

文科省の「早寝・早起・朝ごはん」

日出町教委の「10・7・1運動」(午後10時までに寝て、午前7時までに起き、茶碗1杯の朝食を食べよう)

規則正しい生活習慣づくりをしようとする啓発・推進?

でも、これって当たり前のこと。

日出町の将来を担う子どもたちは、私たちが大人がしっかり見守っていききたいものです。(上野 公則)

編集委員長 森 昭人

副委員長 池田 淳子

委員 熊谷 健作

委員 上野 公則

委員 工藤 健次

委員 藤井 博幸